第206回ゴム技術シンポジウム

ゴム金型技術のすべて

～設計技術からトラブル対策まで～

主　　催：日本ゴム協会研究部会　金型研究分科会
協　　賛：日本金型工業会，日本合成樹脂技術協会，日本塑性加工学会，プラスチック成形加工学会，マテリアルライフ
（予　定）　学会，日本接着学会（順不同）

金型研究分科会では，2004年，2006年に『ゴム・エラストマー用金型技術』と『ゴム・エラストマー用金型技術Q&A』を発刊しました．その後，出版社の倒産，金型関連技術の発展から，**ゴム技術の伝承を考え新たに金型技術を集大成した『ゴム金型技術』を出版**することにしました．

今回は，**出版される本をテキスト**にし，その著者が講師となってシンポジウムを開催します．何かとお忙しいこととは存じますが，ご参加ください．

日　　時：2014年12月16日（火）午前9時50分～午後4時30分
場　　所：東京電業会館　地下ホール　東京都港区元赤坂1－7－8　TEL　03（3403）5181㈹
受 講 料：日本ゴム協会会員　協賛団体会員23,760円　日本ゴム協会学生会員5,400円
※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも，ご所属の会社が法人としてゴム協会員（**賛助会員**）**の場合は2名様まで会員扱い**の受講料で受付けます
シニア制度対象者　11,880円（60歳以上の正会員）**会員外　32,400円**
受講料には消費税・テキスト代を含みます
申込方法：弊会ホームページhttp://www.srij.or.jp/よりお申込みください．（定員80名）
送金方法：現金書留又は銀行振込（三井住友銀行 日比谷支店 普通№7100847　一般社団法人日本ゴム協会）．振り込み手数料は受講者側でご負担ください．一度ご入金された受講料は返金いたしかねますので予めご了承ください．**開催日が近づきましたら開催ご案内を発送いたします．**
問 合 先：一般社団法人　日本ゴム協会　第206回ゴム技術シンポジウム係
（〒107-0051　東京都港区元赤坂1-5-26　東部ビル1階
FAX 03（3401）4143　TEL 03（3401）2957　Eメール　nakagawa@srij.or.jp）

	演　　題	講　師・座　長
9：50～10：00	開会のあいさつ	金型研究分科会主査　山口　幸一
		【座長】バンドー化学㈱　大西　耕司
10：00～11：00	**金型業界の現状と課題** ゴム金型業界の推移，生産金額，会社数，金型産業のグローバル化，協同化， 金型産業の業態，目指す方向について述べる．	**（一社）日本金型工業会　理事** **㈱エムエス製作所　代表取締役社長　迫田　幸博氏**
11：00～12：15	**金型内のゴムの流動と加硫挙動** 金型加硫の際の未加硫ゴムの型内の流動と，加硫時のキャビテイ内の圧力変動について 説明し，金型設計との関係にも言及したい．	**西沢技術研究所　西澤　仁氏**
13：00～13：50	**ゴム射出成形におけるバーチャルシミュレーション技術** ゴム射出成形における最新のシミュレーション技術を紹介する．	**㈱平泉洋行　谷田部豊将氏**
		【座長】ヘイシンテクノベルク㈱　澤田　一彦
13：50～15：05	**ゴム金型の設計･製作** **ー効率的な成形に向けてー** 金型の機能と設計製作の流れ，金型の基本計画，金型各部の設計，金型の要素技術， 金型材料と表面処理，金型製作全般，金型の評価技術，維持管理について述べる．	**金型研究分科会　上嶋　桂二氏**
15：15～16：30	**金型汚染など成形トラブルとその防止技術** ゴムの加硫成形工程では本来加硫反応であるが，金型汚染，それに伴う離型， その他にいろいろなトラブルが生じており，それらについて紹介するとともにその防止対策を述べる．	**関西ゴム技術研修所　山口　幸一氏**
16：30～	閉会のあいさつ	金型研究分科会副主査　上嶋　桂二

※プログラムは一部変更になる可能性がございます．

☆お申込みは弊会ホームページhttp://www.srij.or.jp/からお願いします．